

地域連携推進会議議事録

- 1 日 時 令和 8 年 9 月 29 日(火) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
- 2 場 所 播磨福祉事業館 訓練室
- 3 出席者 姫路市担当 1 名、地域関係者 1 名、福祉知見者 2 名、経営知見者 1 名
利用者家族 1 名、利用者 1 名
- 4 次 第
 1. 会議趣旨説明
 2. 構成員紹介
 3. 播磨福祉事業館概要説明
 4. 運営状況・活動状況等説明
 5. 施設内見学
 6. 意見交換
- 5 進 行 足立館長
- 6 議事録作成者 河岸(事務局)

7 開 会

足立館長より開会のあいさつがあり、以降資料に沿って以下のとおり説明等があった。

8 顛 末

- (1) 会議趣旨説明について、会議資料により足立館長が、以下のとおり説明を行った。

会議の目的・役割について、前年と同様で、利用者と地域との関係づくり、地域の人への施設や利用者に関する理解の促進、施設やサービスの透明性・質の確保を目指し、利用者の権利擁護の取り組みを知ってもらうために開催すること。

また、構成員との情報共有・意見交換のため、職員や利用者との関係づくり・事業所の環境や事業運営の説明を行うこと。

- (2) 構成員紹介について、足立より

地域関係者：広坂自治会代表

福祉知見者：姫路学園 主任、他 1 名

経営知見者：当法人監事

利用者家族：入所者家族

利 用 者：利用者代表

市町村担当：姫路市障害福祉課

播磨福祉事業館館長：足立

事務局：支援担当 鎌田・大園・黒田、会計担当 山本、書記 河岸

以上が紹介され、自己紹介を行った。

- (3) 播磨福祉事業館概要説明について、足立館長が、会議資料の「利用者の状況」により、年齢別利用者数、入所期間、支援区分、障害起因、日中の活動、移動手段、入浴状況、入院・受診等の概要説明を行った。

地域交流について、利用者が外部に出ていくことには問題も多いが、地域から施設へ来館してもらうことには問題がないため、積極的に地域の人に足を運んでもらう行事を行っていること、また外部行事に参加できそうな利用者のため、本年度から少人数ずつ

ではあるが参加していること、その他

- (4) 健康管理について、大園より、会議資料「健康管理について」により、利用者の高齢化が進み転倒・脱水等が増えているため、毎日のバイタルチェックに併せ、水分補給を行っていること、また、年2回の健康診断で状態を確認したり、日中の生活リズムを整える指導やスマホ等のデジタル機器の使用を抑える指導を行ったりしていること。

受診状況について、嘱託医は内科、整形であり、その他は資料の通りの病院に通院していること、嘱託医には入院設備がないため、入院のできる病院にバックベッド登録等を行っていること。

- (5) 運営状況について、山本より、会議資料「運営状況」により、以下の説明があった。

運営状況について、稼働率が低く、物価や光熱水費高騰により建て替え以来初めての赤字であったこと、市による物価高対策の給付金により収入補填ができたこと。

人件費について、パートから正規雇用への転換、育児休業からの復帰、最低賃金引き上げ等で前年より増額したこと、事務費は物価高騰等により増額したこと。また、人件費率は74%であること。

近年物価高騰などにより厳しい状況であるが、手元資金は十分あること。

今年度は、稼働率もあがっており、収支の改善が見込まれていること。

- (6) 活動状況等について、鎌田より会議資料「活動内容」により以下のとおり説明があった。

日中は生産活動で割りばしの袋入れ、名札のインク入れ、シール貼りをを行っていること。また、創作活動で壁面飾りや作品展に出展する作品作りをしていること。

年間行事として、新年会、鍋パーティー等食事を伴ったイベント、日帰り旅行、地域交流行事、青空喫茶、外食デー、衣類の出張販売等を行っていること。また、今年度から地域のイベントにも参加していること。

その他、身体拘束、事故報告、苦情、ヒヤリハットについて資料に沿って説明した。

地域移行等意向確認について、本年4月から利用者に意向確認を行うことが義務化になったこと、その他、指針作成、意向取得等を資料に沿って説明した。

- (7) 栄養管理について、黒田より、利用者の状況、状態に合わせた食事を提供していること、選択メニュー、青空喫茶等食べる楽しみを提供していること、高齢化により食事形態の変化が課題であること。

- (8) 地域交流について、足立より、利用者が外部に出ていくことが高齢化などにより難しくなってきたが、地域から施設へ来館してもらうことには何の障害も無いため、「地域ふれあい祭り」「地域ふれあい健康講座」「地域ふれあい福祉寄席」など、積極的に地域との交流行事を行っていること、外部行事に参加できそうな利用者のため本年度から少人数ではあるが地域の行事に参加していること、その他、衣料品の出張販売時には地域の方にも案内を出していること、年末年始にはイルミネーションで癒しを提供していること。

- (9) 施設内見学について、利用者代表の案内により見学を行った。

- (10) 見学を終えての意見交換として、以下のとおりの意見等があった。

質問

Q. 意向確認について、日中デイサービス等を入所者が希望し利用した場合定員に空きができるが受け入れなど行っているのか。また、減収となるのではないか。

A. 稼働率が下がるので減収となるが、送迎を行っていないため外部からの受け入れなどは行っていない。

Q. リハビリについてどのように行っているのか。

A. PT がいないため看護師が行っている、資格がないので体操やウォーキングなど生活リハビリ的なことを中心に行っている。

Q. 収入改善のためリハビリなどの加算はとれないのか。

A. 算定要件を満たしておらず、満たすためには専門職の雇用等が必要になり収支が合わない。

感想

- ・地域交流行事に参加したがとても良かった。次回も参加したい。
- ・イルミネーションを楽しみしている。